



かぜ 合志の旋風 ～自律貢献～

令和7年12月19日（金）No 32 発行
文責：松本 卓也

学びを深めてきました！！ ～2年修学旅行～

16日（火）～18日（木）、2泊3日の日程で、2年生が関西方面に修学旅行に出かけました。修学旅行は、入学式や卒業式、学習成果発表会、体育大会と同様に特別活動（学校行事）の一つであり、旅行・集団宿泊的行事に位置づけられます。ねらいと内容は、学習指導要領に「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」と示してあります。

【特別活動の3つの視点】

自己実現（伸びる）

人間関係形成（つながる）

社会参画（乗り越える）

2日目の京都市内班別自主行動では、午前中にお金を使いすぎて、楽しみにしていた三十三間堂に入館できなかつたり、観光と地元の食事を楽しみにしている男子と、とにかく買い物をしたい女子とで意見が合わず、タクシーの運転手さんが仲を取り持って和解できたりと、さまざまなアクシデントがありましたが、なかまと協働しながら解決策を探す姿が至る所で見られました。大変だったと思いますが、これも良い思い出です。他にも、誕生日を迎えた友だちに、お金を出し合って誕生日ケーキをサプライズでプレゼントしたり、チェックアウト前には、洗面所を綺麗に拭き上げている女子の姿が見られたりする等、気づき、考え、実行し、貢献していく…。合志中が目指す“自律貢献”をさまざまな場面で実践してくれました。今回の修学旅行で、学び成長したことを、今後の学校生活に生かして欲しいと思います。2年生の保護者の皆様には、送迎のご協力、大変お世話になりました。



子どもは親のように育つ ～親の学び講座～

8日（月）、2年生生徒・保護者を対象に「親の学び」講座を開催しました。講師は、トレーナーをされているPTA副会長のK様です。さまざまな事件やトラブルにあわない、起こさないために、情報通信機器の利用における家庭でのルールづくりに取り組みました。時間や目的、判断等、11の項目の中から大切だと思うものを選び、「私たちの1か条」について考えました。情報機器を利用する際は、親と子がどちらも納得できる安心安全な使い方を考えることが大切です。ご家庭でも、ぜひ情報機器の利用についてのルールづくりをお願いします。



笑う門には福来たる ～門松づくり～

13日（土）、オアシスの会のN様を始め、5名の地域の皆様にご指導頂き、門松づくりを行いました。慣れた手つきでチェーンソーやナタを操る見事な手さばきで、立派な門松が完成しました。作業の最後には、門松の意味についても教えていただき、日本古来の風習について学ぶことができました。門松は、新年を迎える際の年神様を迎える抛り所と言われており、平安時代頃に始まった風習です。切り口の笑い顔に、来年もたくさんの福（幸せ）がやってくると思います。ご指導頂きました地域の皆様、お手伝い頂きましたPTA執行部の皆様、生徒会役員の皆さん、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）